

稲永スポーツセンター主催講座の講師対応報告



名古屋自然保護官事務所は、5月14日に稲永スポーツセンター（名古屋市港区）が主催した講座「やってみようエコライフ（連続5回）」の第2回目「藤前干潟実習」の講師対応を行いました。

「やってみようエコライフ」は、藤前干潟の漂着ごみや水質汚濁などの環境問題と保全活動について学び、身近なエコライフを実践するためのきっかけ提供することを目的として開催されています。そして2回目である「藤前干潟実習」は、干潟の生きものや漂着ごみを実際に見て、藤前干潟の魅力や問題を実感してもらうことを目指して実施しました。

講座では、まずはじめに藤前干潟の歴史や生きものをスライドや映像を用いて説明しました（内容の詳細は右の表に記載）。さらには、藤前干潟の環境を守るためにできる身近なエコライフについても紹介しました。

続いて、近くの干潟へ行き、野鳥やカニや貝などの生きもの、そして漂着ごみを観察しました。今の季節に藤前干潟に渡ってくるキアシシギやササゴイなどの野鳥が見られました。また、ヤマトオサガニやアベハゼ、ソトオリガイなども見られました。

講座の最後には、参加者の皆さんに稲永スポーツセンターからエコ洗剤のプレゼントがありました。今回の講座を機に、藤前干潟の環境をより身近に考えていってもらえれば嬉しいと思います。



* 講義の様子



* 望遠鏡でカニなどの観察



* 干潟の生きものの観察



* エコ洗剤のプレゼント

◆ 講座の概要 ◆

実施日時：平成26年5月14日（水）10:00～12:00

場所：稲永ビジターセンター

対象：一般（計9名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

◆ 講座の内容 ◆

タイトル	藤前干潟の今昔
1. 藤前干潟周辺の埋め立ての歴史	<ul style="list-style-type: none">・ 干潟と愛知の名前の由来・ 藤前干潟周辺の埋め立ての経緯・ 藤前干潟周辺で行われていた漁
2. 干潟の減少と藤前干潟の埋め立ての危機	<ul style="list-style-type: none">・ 唯一残った藤前干潟・ 藤前干潟の埋め立て計画と反対運動・ ラムサール条約登録
3. 藤前干潟の今	<ul style="list-style-type: none">・ 生息する生き物（映像鑑賞）・ 干潟の食物連鎖・ 現在抱える問題 （絶滅危惧種・漂着ごみ等）
4. まとめ	<ul style="list-style-type: none">・ 身近なエコライフの紹介

名古屋自然保護官事務所では、藤前干潟などの生き物のおもしろさや、大切さ、環境保全へ興味を抱ききっかけとなるような出前講座を行ってきたいと思います。興味関心のある方は、名古屋自然保護官事務所まで気軽にお問い合わせください。

■ 名古屋自然保護官事務所 ■

TEL：052-389-2877 FAX：052-389-2878

MAIL：WB-NAGOYA@env.go.jp

* 藤前干潟のHP

<http://chubu.env.go.jp/wildlife/fujimae/index.html>

2014年5月16日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 野村